日野市地域公共交通会議

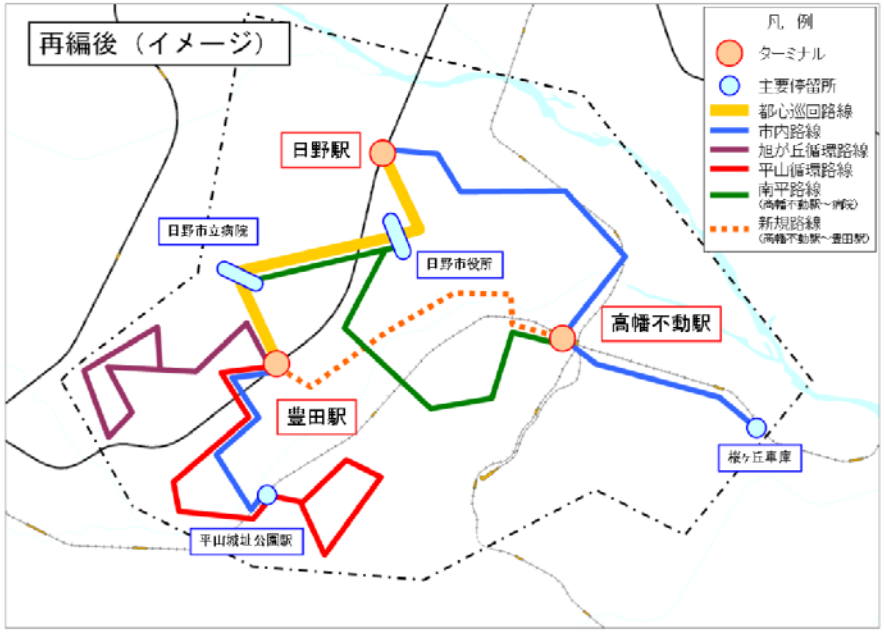
平成20年4月28日設置
平成21年3月11日連携計画策定

概　要

日野市の公共交通網は、乗合い輸送機関である「鉄道」「モノレール」「路線バス」「市内連絡バス（ミニバス）」「丘陵地ワゴンタクシー」と個別輸送機関である「タクシー」により形成されている。ミニバスは、現在、8路線が運行されており、市内3大拠点（JR日野駅、豊田駅、京王高幡不動駅）や市立病院、市役所などの公共施設などへアクセスしている。ワゴンタクシーは、丘陵地の生活交通手段の確保として運行されている。
今後は、体系的な公共交通ネットワークを構築し、地域の実情にあった便利で効率的な公共交通網を確立を目指します。

○地域連携に必要な新規路線の導入

地域連携強化のため、JR豊田駅から京王高幡不動駅までの間に、ミニバス路線を新設する。これにより、拠点間の連携が強化される。
また、開設後は、利用実態調査を行い、運行サービスの見直しを図る。



○ミニバス路線再編

JR日野駅～豊田駅間におけるミニバス相互およびミニバスと路線バスとの路線競合状況の解消により運行を効率化し、運行本数が1本／時に満たない区間の運行本数を増加させる。
また、路線再編のPRや路線分割により発生する乗り継ぎ抵抗の軽減、誤乗車防止策の検討もあわせて実施する。

○丘陵地ワゴンタクシーの見直し

丘陵地補完型交通であるワゴンタクシーについては、利用実態調査やアンケート調査等の結果をもとに、現況サービスの見直しを図る。
あわせて、デマンド型等の新しい交通システムが地域の実情に即したものか検討する。
また、新規路線導入の際の基準や、運行継続の判断基準なども検討する。